

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式

〔平面部〕 ※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)	法定福利費率(b)	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
防水工	× 0.15737	× (c)	= (d)	(d) + (f)	(g) ÷ (h) × 100
普通作業員	× 0.15737	× (c)	= (f)	= (g)	

〔立上り部〕 ※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')	法定福利費率(b')	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
防水工	× 0.15737	× (c')	= (d')	(d') + (f')	(g') ÷ (h') × 100
普通作業員	× 0.15737	× (c')	= (f')	= (g')	

〔アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕 ※5

平面部	84.1%	× (i)	= (j)
立上り部	15.9%	× (i')	= (j')

〔アスファルト防水工事における法定福利費比率〕

$$(j) + (j') = X$$

- ※1. 2020年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載（5頁）
 ※2. 2020年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. 「工事歩掛要覧」（改訂24版）〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
 ※4. 日本防水材料協会（JWMA）のメーカー5社平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	= m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100
(a)	0.15737 (c)	法定福利費率 = (e)

〔立上り部〕 ※1

※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	= m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100
(a')	0.15737 (c')	法定福利費率 = (e')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

平面部	84.1%	× (e)	= (f)
立上り部	15.9%	× (e')	= (f')

〔合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率〕

$$(f) + (f') = Y$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※2. 2020年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕
 ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
 ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{m}^2\text{当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.15737 & & \text{(c)} \end{array}$$

※3	
m ² 当りの法定福利費 (c)	平均設計単価 (d) × 100
法定福利費率 = (e)	

[立上り部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{m}^2\text{当りの法定福利費} \\ \text{(a')} & & & & 0.15737 & & \text{(c')} \end{array}$$

※3	
m ² 当りの法定福利費 (c')	平均設計単価 (d') × 100
法定福利費率 = (e')	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	×	(e)	=	(f)
立上り部	15.9%	×	(e')	=	(f')

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

(f) + (f') = Z

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※2. 2020年度の各保険の保険料率について（2頁） [東京都の場合]
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	=	調整値
アスファルト防水	0.310	×	X	=	(X1)
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	×	Y	=	(Y1)
塗膜防水	0.336	×	Z	=	(Z1)
合計					(X1) + (Y1) + (Z1)

[1成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	(a1)	×	0.4381	=	(b1)
変成シリコーン	(a2)	×	0.3614	=	(b2)
ポリウレタン系	(a3)	×	0.2005	=	(b3)
合計					(c)

$$1\text{当りの材料費 (c)} \times \text{使用量 } 0.055 = \text{m当りの材料費 (d)}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d)
補足材	(d) × 10%				(e)
	※3		※4		
防水工	0.027 × 設計労務単価(f)	=			(g)
その他	上記の13%				(h)
合計	[(d)+(e)+(g)]	×	0.13		(i)

$$\text{m当りの法定福利費(j)} = (g) \times 0.15737 \quad \text{※5}$$

$$\text{法定福利費率(k)} = (j) \div (i) \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂24版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2020年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2020年度の各保険の保険料率について(2頁)〔東京都の場合〕

[2成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率		修正価格
シリコーン	(a1')	×	0.0465	=	(b1')
変成シリコーン	(a2')	×	0.4454	=	(b2')
ポリサルファイド	(a3')	×	0.0912	=	(b3')
ポリウレタン系	(a4')	×	0.4169	=	(b4')
合計					(c')

$$1\text{当りの材料費 (c')} \times \text{使用量 } 0.25 = \text{m当りの材料費 (d')}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d')
補足材	(d') × 10%				(e')
	※3		※4		
防水工	0.039 × 設計労務単価(f')	=			(g')
その他	上記の13%				(h')
合計	[(d')+(e')+(g')]	×	0.13		(i')

$$\text{m当りの法定福利費(j')} = (g') \times 0.15737 \quad \text{※5}$$

$$\text{法定福利費率(k')} = (j') \div (i') \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(改訂24版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2020年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2020年度の各保険の保険料率について(2頁)〔東京都の場合〕

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	(k)	=	(k1)
2成分形シーリング材	0.448	×	(k')	=	(k'1)
合計					(k1)+(k'1)